



真剣な中にも笑いあいの講義で楽しく勉強



災害時の写真を見ながら危険箇所を確認



— 御領5区自主防災会が防災に関する勉強会 —
事前準備で災害に備える

5/30 不知火町御領5区の自主防災会(松尾恵介会長)が、地区の防災訓練の一環として御領5区児童公園で防災勉強会を開催し、区民ら約90人が参加しました。

この日は、県自主防災組織活動支援員の川本取三さんが、避難のためのハザードマップ活用法を伝授。区民は大雨や台風などの自然災害か

ら自身を守るための行動を計画する「マイタイムライン」を作成し、地区で災害が起こりやすい場所を巡回し危険箇所を確認する「防災散歩」を行いました。

参加者からは、「『明るいうちに避難を』と繰り返し話されたので、すごく心に残りました。」などの感想が聞かれました。



医師の問診後、看護師がワクチンを接種

— 三角・不知火地区で集団接種を開始 —
高齢者のワクチン接種始まる

5/27 85歳以上の高齢者を対象にした新型コロナワクチンの集団接種が三角・不知火地区で始まりました。初日は、予約した60人が三角防災拠点センターで1回目の接種を受けました。1番目に接種を受けた吉岡早苗さん(89)は「会場は接種の流れに沿って区切られ、コロナ対策も万全。安心して接種が受けられました。」と話していました。



丁寧な作業で真新しい滑らかな歩道に仕上がりました

— 舗装工事組が路面補修ボランティア —
道路の安全を守ることは私たちの使命

5/25 市内の建設業者でつくる宇城市舗装工事組合(吉田卓也組合長)が小川町内の路面補修ボランティアを行いました。これは、地域貢献を目的に毎年実施しているもの。今回補修が行われたのは、多くの中学生が利用する通学路で、アルモニーホール小川付近。同組合に加盟する7業者20人が協力し、段差のあった歩道を補修しました。

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い
TOPICS



贈呈する楠田部会長(右)と山下支部長(左)

— 生産者が小・中学校に農産物などを贈呈 —
地産地消の大切さを伝えたい

5/10 JA 熊本うき柑橘部会の楠田真喜男部会長(66)と同トマト部会不知火支部の山下義男支部長(68)が不知火中学校を訪れ、上村一浩校長にデコボンジュースとミニトマトを贈呈しました。試食した生徒会長の本田粋己さん(3年)は「両方とも、とてもおいしい。生産者の皆さんに感謝して食べたいです。」と笑顔で話していました。



青空の下、ヨガを楽しむ参加者たち

— 地域づくり団体「うきのわ」が交流イベント —
笑顔集う交流の場「豊野復興祭」

4/10 豊野町の響原復興住宅みんなの家で「豊野復興祭」が開かれました。これは、同住宅の住民と地域住民との交流を促そうと地域づくり団体「うきのわ」(糸山公照代表)が企画したものです。この日は、地域の高校生や室蘭工業大学(北海道)の学生らも参加し、ヨガ体験や豚汁の振る舞い、アルファ米を使った防災食体験などが行われました。



3本のYouTube動画の一コマ(左)、ウキピアノ(右)

— コロナ禍でも交流を —
「ウキピアノ」YouTube動画公開

5/18 市ではイベントの開催が難しいコロナ禍でもウキピアノを通じて多くの人々が交流し、音楽を通して人々に癒やしや元気を届けることができるよう、ウキピアノの動画を制作し、投稿サイトYouTubeに3本の動画をアップしました。皆さんもウキピアノを世界に広めるため、SNSや動画の投稿をよろしくお願いします。



表彰状を受け取る吉村さん

— 松橋給食センター勤務の職員が表彰 —
日頃培った連携で子どもを救出

5/18 宇城広域連合南消防署で松橋給食センターに勤務する(株)東洋食品の職員に表彰状が授与されました。これは、4月に松橋町の明神川に転落した5歳男児を同職員5人が救助したことをたたえたもの。受賞した吉村淳司さん(57)は「救出の時は、夢中でした。給食を作るときの連携が生かされたと思います。」と笑顔を見せました。